

(1) 鹿児島県内地域子育て支援拠点

地域子育て支援拠点は、主に乳幼児と乳幼児の保護者が相互の交流を図ったり、子育てについて不安や悩みの相談ができたりするほか、子育てに関する様々な情報提供を受けることができます。

県内の39市町村に、114か所の支援拠点があります。(令和6年6月1日現在)



←県ホームページ(子ども政策局子ども政策課)をご覧ください。
施設により事業内容が異なりますので、詳しくは、お住まいの地域子育て支援拠点にお問い合わせください。

(2) こども食堂、放課後児童クラブ、放課後子供教室

こどもが放課後等を安心して過ごすことのできる「こども食堂」「放課後児童クラブ」「放課後子供教室」があります。場所によっては、多様な世代の方が利用されていたり、子育てや家庭教育に関する知識等をもっている指導員や職員が話を聞いてくださったり、専門機関等を紹介してくださったりする場合があります。



◇ こども食堂

「こどもが一人でも行ける無料又は低価格の食堂」と定義されています。多世代交流や地域づくり・まちづくりを活動の目的としており、こどもから高齢者まで地域の多様な方が参加される「多世代交流拠点」として運営されているところもあります。

多様な方が利用できることから、親(保護者)が、子育てや家庭教育について、学んだり、情報を得たりする場所の一つになる場合があります。

◇ 放課後児童クラブ

放課後児童クラブ(児童クラブ、学童クラブ)は、親(保護者)が共働き等により昼間家庭にいない小学生を預かり、その遊びと生活を支援し、健全育成を行っている場です。専門の職員(放課後指導支援員)が従事しています。放課後指導支援員が、保育や社会福祉士の資格を有していますので、親(保護者)が、子育てや家庭教育について学んだり、情報を得たりする場所の一つになる場合があります。

◇ 放課後子供教室

こどもたちが、放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、地域住民等の参画を得て、放課後等にすべての児童を対象として、学習や体験・交流活動等を行う場です。地域全体でこどもたちの成長を支える多様な活動が展開されることから親(保護者)が、子育てや家庭教育について、学んだり、情報を得たりする場所の一つになる場合があります。

※ 児童相談所や保健センター、病院や療育施設等、いろいろな場所が「保護者の学びの場」となることもあります。